



株式会社タノ製作所

DX化を推進し技術力向上 自動車業界の大変革期に チャンスを生かす



高崎市

住所 高崎市吉井町池779-13
TEL 027-387-2477
Mail n-kitamura@tanoss.jp

URL <http://tanoss.jp>

代表者 片野 真吾

設立 1972年7月1日

資本金 3,000万円

従業員 170人

WEBサイト



企業紹介

■自動車部品製造50年余り

当社は、自動車の部品を製造している企業です。厳しい環境の中でも、快適で活気のある職場をモットーに業務に取り組んでいます。自動車のドアミラー、インナーミラー、各種ランプ、内装部品、機能部品の金型製作から成形、完成品組立まで対応し、それらの部品をあらゆる自動車・トラックメーカーに納入しています。お客様の求める「高品質」「短納期」「低コスト」に高いレベルで応え、世界に通用する企業を目指していきます。

経緯・背景

■激変する自動車業界

自動車業界では「CASE」のもとに、100年に1度の大変革期を迎えています。自動車は単なる移動手段から、サービスを伴うモビリティとして新しい価値を創出します。これは製造業にこれまでにない変革をもたらし、また多くのビジネスチャンスが生まれています。新しい市場の獲得に向け、DX化を推進し技術力を向上させることが、このチャンスを生かし、会社の次なる成長に繋がると考えています。

IoT活用で不良率削減 出荷検査の見える化も実現 研究成果を地域に広める

具体的な取組・成果

●地域未来牽引企業としての役割を果たします

2020年に経済産業省から「地域未来牽引企業」として選定されました。地域経済を牽引するため、会社の継続的な発展を目指しています。自動車業界を取り巻く環境は「CASE」により今激しく変化しています。生き残るためにはDX化を進め、IoT技術を活用し、業務の効率化を図ることが必須の条件と考えています。デジタル技術開発は、群馬産業技術センターとの共同研究で推進しており、その成果を地域企業に広める活動にも積極的に参加しています。

●当社のDX化の取組(群馬産業技術センターとの共同開発)

◇成形条件の見える化(IoT活用)

成形機や付帯の温度調整設備等の検出する製造情報をIoTでデジタル情報として収集し、不良発生時の状態を特徴化させ、成形機の制御にフィードバックするIoTシステムを開発しました。従来は、不良発生の原因分析を指令値で行っていましたが、実績値での分析を可能にしたことにより不良発生メカニズムを正確に捉えることができるようになりました。これにより不良率の削減の大きな効果がありました。



DX・IoTデータを活用して不良削減に向けた成形トライ

さらに異常値の検知で、設備不良発生の未然防止にも役立っております。

◇検査デパーチャーの導入

リアルタイムで出荷検査の進捗を誰でも見ることができ業務効率化が図れました。また、不良品発生の早期発見にも役立ち、生産ロスの削減にも役立っております。

◇流量ウォッチャーの開発

金型の冷却水の状態が見える化し、ロッド不良発生の未然防止を実現。

◇今後もDX化を強力に推進していきます

現在は生産管理システムのDX化を推進中。一層の業務効率化を図り、強靱な企業体質を実現し、継続的な発展を可能にし、地域経済の牽引役としての責任を果たしたいと考えております。

当社にとってのSDGsビジョン

●地球を守ろうをモットーに

IoT・DX化を推し進め、業務の効率化を実現し継続的な発展を可能にする企業を目指します。

資源を大切にし、地球にやさしい企業を目指します。

省エネ、食品ロスの削減、ごみの削減、エコ通勤等、全従業員で自分にできるエコを実践しています。

今後の展望と求めるパートナー像

●ものづくりを通じて社会へ貢献

ものづくりを通じて社会へ貢献し、持続可能な社会の実現に資する企業を目指します。

専門分野の技術力向上を図り、高品質、高付加価値の製品を社会に提供し、継続的に発展できる企業を目指します。

地域社会・経済の牽引役として従業員を大切にし、誰もが働きやすい労働環境を実現していきます。